

平成30年度 学校教育自己診断集計結果

A：よくあてはまる
 B：ややあてはまる
 C：あまり当てはまらない
 D：まったく当てはまらない

【生徒回答】（回答数117名／対象数130名）

	診 断 内 容	A	B	C	D	A+B
1	学校に行くのが楽しい。	28.2%	39.3%	21.4%	11.1%	67.5%
2	先生は生徒の意見を聞いてくれる。	30.8%	51.3%	9.4%	8.5%	82.1%
3	授業はわかりやすく楽しい。	16.2%	57.3%	17.9%	8.5%	73.5%
4	教え方に工夫をしている先生が多い。	24.8%	53.0%	12.0%	8.5%	77.8%
5	先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	25.6%	46.2%	17.1%	10.3%	71.8%
6	担任の先生以外にも保健室(ほけんしつ)や相談室等で、気軽に自分が気になることについて話ができる先生がいる。	34.2%	32.5%	14.5%	18.8%	66.7%
7	学校生活についての先生の指導は納得できる。	22.2%	47.9%	16.2%	13.7%	70.1%
8	授業や総合学習で将来の進路や生き方について考える機会がある。将来の進路や生き方について考える機会がある。	26.5%	43.6%	17.1%	12.8%	70.1%
9	文化祭は楽しく行えるよう工夫されている。	37.6%	41.0%	14.5%	6.8%	78.6%
10	体育祭は楽しく行えるよう工夫されている。	34.2%	41.0%	17.1%	7.7%	75.2%
11	命の大切さや社会のルール、人権について学ぶ機会がある。	28.2%	51.3%	10.3%	10.3%	79.5%

【保護者回答】（回答数33家庭／対象数92家庭）

	診 断 内 容	A	B	C	D	A+B
1	子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。	30.3%	36.4%	24.2%	6.1%	66.7%
2	先生は子どもを理解している。	60.6%	36.4%	3.0%	0.0%	97.0%
3	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。	12.1%	54.5%	24.2%	6.1%	66.7%
4	子どもの学習内容に満足している。	21.2%	51.5%	24.2%	3.0%	72.7%
5	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	39.4%	42.4%	15.2%	3.0%	81.8%
6	気になる事柄について先生に相談しやすい。	54.5%	36.4%	9.1%	0.0%	90.9%
7	学校の生徒指導の方針に共感できる。	54.5%	27.3%	9.1%	6.1%	81.8%
8	学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	57.6%	30.3%	6.1%	3.0%	87.9%
9	学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。	30.3%	24.2%	9.1%	33.3%	54.5%
10	学校は、教育情報について、提供の努力をしている。	57.6%	33.3%	3.0%	6.1%	90.9%
11	学校は子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を育てようとしている。	54.5%	33.3%	6.1%	3.0%	87.9%

【教職員回答】（回答数22人／対象数22人）

	診 断 内 容	A	B	C	D	A+B
1	学校の教育活動について教職員で日常的に話し合っている。	50.0%	40.9%	9.1%	0.0%	90.9%
2	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	22.7%	68.2%	9.1%	0.0%	90.9%
3	年間の学習指導計画について、各教科で話し合っている。	27.3%	63.6%	9.1%	0.0%	90.9%
4	本校では、到達度の低い生徒に対する学習指導について、全校的課題として取り組んでいる。	54.5%	40.9%	4.5%	0.0%	95.5%
5	本校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	36.4%	54.5%	9.1%	0.0%	90.9%
6	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	45.5%	45.5%	4.5%	4.5%	90.9%
7	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。	50.0%	40.9%	9.1%	0.0%	90.9%
8	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	59.1%	36.4%	0.0%	4.5%	95.5%
9	学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	59.1%	40.9%	0.0%	0.0%	100.0%
10	教育活動において、生徒が命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会をつくるよう配慮している。	18.2%	72.7%	9.1%	0.0%	90.9%
11	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	40.9%	54.5%	4.5%	0.0%	95.5%
12	学校経営に、教職員の意見が反映されている。	9.1%	59.1%	27.3%	4.5%	68.2%
13	生徒の障がいや実態の多様化に対応した適切な教育活動をおこなっている。	31.8%	63.6%	4.5%	0.0%	95.5%
14	学校（担任）は保護者と密接な連携がとれている。	40.9%	54.5%	4.5%	0.0%	95.5%
15	学校は授業力向上のための校内公開授業等を積極的に推進し、また教員相互の授業を検討する機会を持ち、教材や指導方法など授業改善に取り組んでいる。	45.5%	50.0%	4.5%	0.0%	95.5%
16	コンピュータ等のICT機器が、各教科の授業などで活用されている。	68.2%	31.8%	0.0%	0.0%	100.0%
17	学校は体罰やセクシャルハラスメントの防止をはじめ、個人情報管理などすべての教育活動において人権尊重に基づいた指導が行われている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
18	学校（教員）は組織として「報告・連絡・相談」が徹底されている。	27.3%	59.1%	13.6%	0.0%	86.4%
19	教員間の相互信頼があり、意見を率直に言える環境、雰囲気である。	22.7%	59.1%	18.2%	0.0%	81.8%

分析・検討事項

回答の(A+B)を肯定的回答とし、その割合を中心に分析・検討を行った。

【生徒】

昨年と比べた場合、2～7、11の項目は、対教師、指導にかかわる部分では大幅な変化が見受けられない。

それに対して、1、8、9、10の項目で5%以上低下している。この項目の共通点は、生徒自身、友達関係に起因すると考えられるため、自己有用感や友達関係、クラスでの居場所に問題を感じている生徒が多い可能性がある。

過去5年平均と比べた場合、6の項目で5%以上向上している。教育相談体制の充実した成果が出ている。

8の項目は、1年次が低く学年が上がるほど肯定率は上がる傾向がある。

【保護者】

1の項目のみ5%以上低下している。2、6、9の項目は上昇しているため、教員、保護者の起因する問題でなく、生徒自身、友達関係に起因すると考えられる。自己有用感や友達関係、クラスでの居場所に問題を感じている生徒が多い可能性がある。

2の項目については、教育相談会議や職員会議での情報共有を行ったり、担任が保護者との電話連絡を密に行っている成果がでている。

9、10の項目は、昨年と比較して高い伸び率を示している。これは、本校webページやLINE@を活用した情報提供が起因している可能性が高い。

【教員】

総じて自己評価が高い。

3の項目については、本年度より成績提出前に各教科で会議を設けるようにした効果が出ている。

12の項目は、課題を多く議論した年度は低くなる傾向があるが、これは教職員が学校をよくしたいという心の表れと感じる。学校のことを教職員が主体的に考え、教職員の意見を学校運営に反映しやすくするため、来年度からは年2回程度学校運営について議題を絞って議論できる機会を検討する。

【全体をとおして】

生徒及び保護者で「学校に行くのが楽しい。」の項目が、大幅に低下している。また、授業の項目について微減している。

授業、友達関係等も含めて、生徒が楽しいと思える学校を教職員で検討していく。

生徒及び保護者、教職員で生徒理解、いじめの項目はとても高い。また、相談の項目も高い。

生徒が安心して安全と思える学校づくりができていると考える。

保護者及び教職員で教育情報の項目が高いため、学校と保護者で密接な連携が取られていると考える。